

405 中央大学記事（御大礼奉祝式並びに鳳輦の奉送迎・創立

三十年記念会記事・維持基金寄附申込者氏名及び金額）

〔『法学新報』第25卷11（292）号 大正4年12月3日〕

○中央大学記事

○御大礼奉祝式並鳳輦の奉送迎 去月十日中央大学に於ては教職員学生並に學員諸氏千二百余名相会し其大講堂に於て 御登極の大礼奉祝式を挙行す午後二時より一同著席したるか当日は学長を始め伊藤岡野両理事共京都に赴かれたるを以て法学博士原嘉道氏学長に代りて賀表を朗読せられ一同の最敬礼ありて後同氏は更に大礼に関する講話を謹述せられ三時半に至るや同氏の発声にて一同恭しく 天皇陛下の万歳を三唱し森嚴静肅の裡に式を終へ別室にて茶菓の饗応ありて五時目出度散会したり 尚ほ去月六日 天皇陛下の京都に御發輦の際には幹事引率の下

に教職員並に学生一同隊伍を整へ宮城前所定の場所に至りて拜  
送し又同二十八日御還幸に方りても前同様鳳輦を奉迎せり謹み  
て惟みるに 天皇陛下去月六日京都に行幸ありしより二十余日  
即位礼、大嘗祭の大儀を行はせられ次て伊勢神宮親謁、畝傍山  
なる神武帝、泉山なる光格仁孝孝明三帝及び桃山明治天皇各山  
陵親謁の儀を了はらせられ全国民和氣歓声の間に大典の盛儀其  
成を告げ今や龍顔麗はしく還幸し給ふ欣喜何ぞ勝へん大礼当日  
原博士の朗読したる賀表は左の如し

中央大学学長臣義人言フス伏シテ以ミルニ

天皇陛下今月今日ヲ以テ大典ニ遵ヒテ即位ノ礼ヲ行ハセ給フ億  
兆ノ臣民孰レカ慶幸セサランヤ臣義人誠歛誠喜頓首頓首臣聞  
ク王者天ヲ統ヘテ万物始ヲ資リ聖人極ヲ立テテ治化由リテ行  
ハル是故ニ瓊矛滴リヲ凝ラシテ乃チ礪馭盧島ヲ成シ憲法訓ヲ  
垂レテ爰ニ文明ノ邦ト称セラル恭シク惟ミルニ

陛下乃チ聖乃チ神ニシテ

祖宗親授ノ器ヲ承ケ允ニ文允ニ武ニシテ万世一系ノ尊ヲ履ミ給  
ヒ内ハ彝範ヲ序テテ風化南北ニ普ク外ハ遠人ヲ柔ケテ冠蓋東  
西ヨリ来ル四海清平ニシテ天人感悦シ

皇道ノ隆ナルコト前古何ンソ比セン国運ノ振ヘルコト今日ヲ殷  
ナリトス臣叨リニ教育ニ任シ幸ヒニ昌期ニ逢フ願クハ學術ヲ  
講論シテ聖明ノ沢ニ涵泳シ青年ヲ奨帥シテ万年ノ化ヲ翊賛セ  
ン仰キテ盛事ヲ思ヒ歛拊踊躍ノ至リニ任フル無シ謹ミテ表ヲ  
奉リテ賀ヲ称ケ以 聞ス臣義人誠歛誠喜頓首頓首謹ミテ言フ  
ス

大正四年十一月十日 中央大学学長正三位勲一等

法学博士臣奥田義人上表

○創立三十年記念会記事 去月一日午後五時より中央大学倶楽  
部に於て在京委員会を開催し左の事項を決議したり

一 記念式は本年十二月十二日(日曜日)を以て挙行するこ  
と

二 委員は一部(官公吏)二部(弁護士)三部(実業家其他)  
に別て事務を分担すること

三 各部委員中より常務委員四名つつを挙げて委員長を補佐  
すること(其選定は委員長に一任す)

常務委員(いろは順)

第一部 林 頼三郎君、鳥居錦次郎君、河野 秀男君、

喜多 孝治君

第二部 高野 金重君、前田 米蔵君、三宅 碩夫君、

品川 英一君

第三部 小野瀬不二人君、田中 文蔵君、武田 明君、

指田 義雄君

四 事務監督一名、専任事務員一名、補助員若干名を置くこ  
と(其選定は委員長に一任す)

事務監督 伊藤悌治君

五 委員長及副委員長は中央大学理事之に当ること

委員長 奥田義人君

副委員長 伊藤悌治君 岡野敬次郎君

六 会計監督若干名を置くこと(其選定及員数は委員長に一

任す)

会計監督 原嘉道君

七 常務委員は毎週水曜日に会合すること

八 在京委員総会は常務委員会の決議に依り開催すること

又去月二十四日午後五時より常任委員会を開催し委員の外学長理事並に幹事出席して必要なる諸件を決議したるか記念式は本月十二日挙行のことと為り当日の次第は左の如し

一 十二月十二日午後一時半式場(大講堂)に著席

二 奏楽(国歌)

三 学長の式辞

四 来賓祝辞

五 講師祝辞

六 学員祝辞

七 学生総代祝辞

八 理事の謝辞

九 模擬店を開く

十 余興

十一 右了て茶菓饗応

○維持基金寄附の申込ありたる諸氏の氏名及金額左の如し

一金壹万円(一時払)	飯田延太郎君	一金拾円(一時払)	伴 平太郎君
一金叁千円(十个年賦払)	岩崎鉄次郎君	一金叁百円(口数五口)	林 頼三郎君
一金壹百円(五个年賦払)	石川 文吾君	一金六拾円(口数一口)	長谷川方文君
一金六百元(口数十口)	稲田周之助君	一金百弍拾円(口数二口)	馬場豊三郎君
一金百弍拾円(年二回二十回払)	飯沼鬼一郎君	一金六拾円(口数一口)	西島 佐吉君
		一金拾円(一時払)	朴 勝彬君
		一金叁百円(口数五口)	堀江専一郎君
		一金五拾円(年二回五回払)	近沢 武男君
		一金四百弍拾円(口数七口)	岡田 泰蔵君
		一金百弍拾円(口数二口)	大橋与四郎君
		一金六拾円(口数一口)	尾畑 喜平君
		一金六拾円(口数一口)	小川紋太郎君
		一金六拾円(口数一口)	小山 靖男君
		一金叁百円(口数五口)	尾崎 利中君
		一金六百元(口数十口)	小倉 敬止君
		一金叁百円(口数五口)	渡辺 澄也君
		一金六拾円(口数一口)	鷺見亀五郎君
		一金六百元(口数十口)	川久保源治君
		一金六百元(口数十口)	川島 任司君
		一金叁百円(口数五口)	河野 秀男君
		一金五拾円(月割二十五回払)	片岡善太郎君
		一金叁千円(口数五十口)	田中 文蔵君
		一金千弍百円(口数二十口)	武田 明君
		一金六百元(口数十口)	高野 金重君

一金百貳拾円 (口数二口)	竹内 鑄作君	一金六拾円 (口数一口)	腰山 長吉君
一金貳百円 (十個年賦払)	田中 利三君	一金參千円 (口数五十口)	小松 林蔵君
一金六百元 (口数十口)	高窪喜八郎君	一金六拾円 (口数一口)	江浪 時雄君
一金六拾円 (口数一口)	高橋 勤君	一金六拾円 (口数一口)	遠藤 盛邦君
一金六拾円 (口数一口)	田部和一郎君	一金六拾円 (口数一口)	寺田 道夫君
一金六拾円 (口数一口)	中西 清吉君	一金百貳拾円 (口数二口)	秋山 専蔵君
一金百貳拾円 (口数二口)	難波弁太郎君	一金參百円 (六回払)	赤松 治部君
一金拾円 (一時払)	中村 泰造君	一金百円 (十個年賦払)	青木雷三郎君
一金五拾円 (一時払)	植田 隆君	一金參百円 (口数五口)	東兵右衛門君
一金六拾円 (口数一口)	楠 久接君	一金六拾円 (口数一口)	沢田 宏君
一金六拾円 (口数一口)	口井 勇夫君	一金拾円 (一時払)	榊原 呈治君
一金六拾円 (口数一口)	柳田宗一郎君	一金參拾円 (十五回払)	佐原寅三郎君
一金六拾円 (口数一口)	山口 鍬太君	一金參百円 (口数五口)	齋藤 二郎君
一金拾円 (一時払)	山口 貞亮君	一金參拾円 (一時払)	齋藤芳太郎君
一金貳百四拾円 (口数四口)	牧野 賤男君	一金貳百四拾円 (口数四口)	喜多 孝治君
一金參百円 (口数五口)	前田 米蔵君	一金六拾円 (口数一口)	北村 良平君
一金壹百円 (月賦払)	松隈 昌隆君	一金六拾円 (口数一口)	木村 寿平君
一金貳拾円 (月賦払)	松島 昇君	一金六拾円 (口数一口)	宮沢 武七君
一金百貳拾円 (十二回払)	前田直之助君	一金六拾円 (口数一口)	宮下 三夫君
一金壹百円 (二十回払)	松森 靈運君	一金貳拾円 (一時払)	宮館 貞一君
一金六拾円 (口数一口)	福永虎之輔君	一金百貳拾円 (口数二口)	水野 博徳君
一金千貳百円 (口数二十口)	古田 良三君	一金六百元 (口数十口)	品川 英一君
一金六拾円 (口数一口)	藤谷 久六君	一金六拾円 (口数一口)	白井 茂君
一金千貳百円 (口数二十口)	藤本徳之進君	一金五拾円 (一時払)	志賀 三行君

一金参百円 (口数五口)  
一金六拾円 (口数一口)  
一金六拾円 (口数一口)

所沢貞太郎君  
平塚 均君  
清田竜之助君  
(以下次号)